

カテゴリーについて

カテゴリー

	カテゴリーA(初級)	カテゴリーB(中級)	カテゴリーC(上級)
課題	「私の町のお祭り」	「メキシコへの日本人観光客誘致」	「メキシコの食料品の日本輸出促進」
内容	自分の住んでいるもしくは、生まれた町の祭りについて紹介する	メキシコの魅力を紹介し、メキシコへの観光客誘致のためのアイデアを発表する	メキシコ産の食料品（飲料、原料も含む）をひとつ選択し、その特徴と輸出促進のアイデアを発表する
例	①町の情報 ・町の基本情報 ・観光名所 ・町の特産物 ②祭りの情報 ・祭りの概要 ・祭りの歴史 ・祭りの今後の展開 など	①メキシコの情報 ・国の基本情報 ・気候 ・治安 ・文化 ・有名な観光地と見どころ ・歴史 ②観光客誘致のためのアイデア ・メキシコの宣伝方法 ・イベント企画 など	①食料品の紹介 ・基本情報 ⇒主な生産地、収穫時期 など ・食料品の魅力 ・その食料品を用いた料理 ・他国との比較 ②普及させるためのアイデア ・輸出方法 ・普及イベント ・PR方法 など
日本語レベルの目安	※2 ページ目参照		
発表時間	5分	10分	15分
質疑応答	なし	発表後に簡単な質疑応答あり	発表の際に適宜質疑応答あり

良いプレゼンとは

良いプレゼンを聞くと聞き手の気持ちは動きます。

聞き手の気持ちを動かすプレゼンには、「思い」「共感」「根拠」の3つの要素が必要です。

- ・「思い」…発表する内容に自分の「思い」や「情熱」が込められているかどうか
- ・「共感」…自分のアイデアや考えに「興味」を持ってもらえるか、または共感してもらえるかどうか
- ・「根拠」…そのアイデアを選ぶことで、どんな効果や利益が得られるかを「根拠」を元に説明できるかどうか

今大会では、この3つの点を踏まえ、「相手の気持ちを動かすことができたか」というポイントを重視して評価を行います。

本大会のカテゴリー別レベルについて

以前に行われていた中部地方弁論大会では、参加カテゴリーを決めていただく際に、学習時間や使用教材の進捗度、また能力試験の級を参考に選んでいただいていたのですが、学習者の日本語能力を正確に表すことが難しくレベルに合っていないカテゴリーに参加する学習者が多くみられました。

それを踏まえて、今回、新しい試みとして参加カテゴリーを決めていただく際に、学習者の担当である皆様には、CEFR(言語のためのヨーロッパ共通参照枠)、また JF 日本語教育スタンダードにおける熟達度レベルを参考にして選んでいただきたいと思います。

「JF 日本語教育スタンダード」とは、熟達度のレベルを A1、A2、B1、B2、C1、C2 の 6 段階とし、それぞれのレベルで、日本語で何がどれだけ「できる」かが「Can-do」という形式の文（「～できる」の文）を使って表されているものです。

学習者の担当者の皆様には、学習時間や学習進度に関係なく、学習者のレベルを以下の表に書かれている項目の中から判断し、カテゴリーを選んでいただけたら幸いです。ご協力のほどよろしくお願い致します。

1. カテゴリーA

評価機関	レベル	内容
CEFR	A2	身近な話題についてリハーサルをして、短い基本的なプレゼンテーションができる。
		自分の毎日の生活に直接関連のある話題については、リハーサルして、短いプレゼンテーションができる。意見、計画、行動に対して、理由を挙げて、短く述べるができる。
JF	A2	初めて会った人の前で自己紹介するとき、自分や家族がどこに住んでいるか、何をしているかなど、短い簡単な言葉で話すことができる。
		友人に自分の出身地など、よく知っている町を案内するとき、名所や名物などを短い簡単な言葉で紹介することができる。
		異文化体験の出来事について、短い簡単な言葉で友人に語るすることができる。

2. カテゴリーB

評価機関	レベル	内容
CEFR	B1	自分の専門でよく知っている話題について、事前に用意された簡単なプレゼンテーションができる。ほとんどの場合、聴衆が難なく話についていける程度に、はっきりとしたプレゼンテーションをすることができ、また要点をそこそこ正確に述べるができる。
		質問には対応できるが、そのスピードが速い場合は、もう一度繰り返すことを頼むこともある。
JF	B1	スポーツなど、よく知っているゲームの簡単なルールなどを順序だてて友人に説明することができる。
		ガイドとして有名な観光地などを案内するとき、あらかじめ準備してあれば、名所や名物などを、ある程度詳しく紹介することができる。
		携帯電話など、自分の興味のある機器について、機能や生活にどのように役立つかなどを友人に説明することができる。



3. カテゴリーC

評価機関	レベル	内容
CEFR	B2.1	いくつかの選択肢の利点と不利な点を挙げて、話題となる問題の視点を説明できる。
		事前に用意されたプレゼンテーションをはっきりと行うことができる。ある見方に賛成、反対の理由を挙げて、いくつかの選択肢の利点と不利な点を示すことができる。
JF	B2	連続テレビドラマの友人が見逃した回などについて、友人に、新たなストーリーの展開などを、それまでのストーリーと関連付けながら要領よくまとめて話すことができる。
		ノンネイティブスピーカーの教師研修のワークショップなどで、自分がこれまでにしてきた授業活動や教材作成の経験などについて、自らの価値観や考えも含めて明確に詳しく語るができる。